

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公表特許公報(A)

(11) 特許出願公表番号

特表2019-510065

(P2019-510065A)

(43) 公表日 平成31年4月11日(2019.4.11)

(51) Int.Cl.	F I	テーマコード (参考)
A 6 1 K 8/39 (2006.01)	A 6 1 K 8/39	4 C 0 8 3
A 6 1 Q 1/14 (2006.01)	A 6 1 Q 1/14	
A 6 1 Q 19/00 (2006.01)	A 6 1 Q 19/00	
A 6 1 K 8/73 (2006.01)	A 6 1 K 8/73	
A 6 1 K 8/55 (2006.01)	A 6 1 K 8/55	
審査請求 未請求 予備審査請求 未請求 (全 28 頁) 最終頁に続く		

(21) 出願番号	特願2018-551346 (P2018-551346)	(71) 出願人	508283406
(86) (22) 出願日	平成29年3月31日 (2017. 3. 31)		シャネル パフュームズ ビューテ
(85) 翻訳文提出日	平成30年11月27日 (2018. 11. 27)		フランス国 9 2 2 0 0 ヌイイシュルセ
(86) 国際出願番号	PCT/FR2017/050741		ーヌ, アベニユ チャールズ デ ゴール
(87) 国際公開番号	W02017/191382		1 3 5
(87) 国際公開日	平成29年11月9日 (2017. 11. 9)	(74) 代理人	100092783
(31) 優先権主張番号	1652853		弁理士 小林 浩
(32) 優先日	平成28年4月1日 (2016. 4. 1)	(74) 代理人	100120134
(33) 優先権主張国	フランス (FR)		弁理士 大森 規雄
		(74) 代理人	100128761
			弁理士 田村 恭子
		(74) 代理人	100104282
			弁理士 鈴木 康仁

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 2相メークアップ除去組成物

(57) 【要約】

本発明は、水相、および組成物の全重量に対して少なくとも20重量%の油相を含む別個の油中水型または水中油型エマルションから構成される化粧品組成物に関し；本組成物は、イヌリン誘導体、リゾリン脂質、ポロキサマー、ポリプロピレングリコールブテス、および硬化ヒマシ油の誘導体を含有する乳化系を含む。

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

水相および別個の油中水型または水中油型相から構成される化粧品組成物であって、前記組成物が、イヌリン誘導体、リゾリン脂質、ポロキサマー、ポリプロピレングリコールブテスおよび硬化ヒマシ油の誘導体を含む乳化系を含み、

前記油中水型または水中油型エマルジョンが、前記組成物の全重量に対して少なくとも 20 重量%の油相を含む、化粧品組成物。

【請求項 2】

グルコノラクトンおよび/または安息香酸ナトリウムをも含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

全体的な水相：油相比が、40：60 から 80：20 の間であることを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記油相が、前記組成物の全重量の 20 重量%から 40 重量%、好ましくは、25 重量%から 35 重量%の含有量で存在することを特徴とする、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 5】

前記乳化系が、前記組成物の全重量の 2 重量%から 10 重量%、好ましくは、3 重量%から 7 重量%の含有量で存在することを特徴とする、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の組成物。

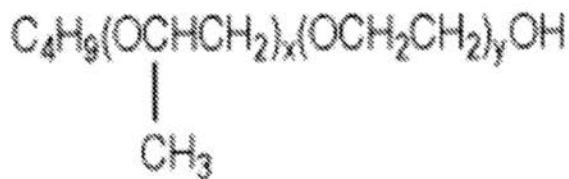
【請求項 6】

前記イヌリン誘導体が、アルキルイソシアネート、好ましくは、ラウリルイソシアネートを有するイヌリンカルバモイルであり、好ましくは、前記誘導体が、ラウリルカルバミン酸イヌリンであることを特徴とする、請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 7】

前記ポリプロピレングリコールブテスが、次式 (I I)

【化 1】



(II)

[式中、x および y は、同一でも異なってもよい、1 から 50、好ましくは、10 から 35 の整数である] を満たすことを特徴とする、請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 8】

前記ポリプロピレングリコールブテスが、PPG - 12 - ブテス - 16、PPG - 9 - ブテス - 12、PPG - 26 - ブテス - 26 および PPG - 28 - ブテス - 35 の中から選ばれ、かつ/または前記硬化ヒマシ油の誘導体が、オキシエチレン化硬化ヒマシ油であり、好ましくは、20 モルから 50 モルの間のエチレンオキシドを含むことを特徴とする、請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 9】

前記ポロキサマーが、次式 (I I I)

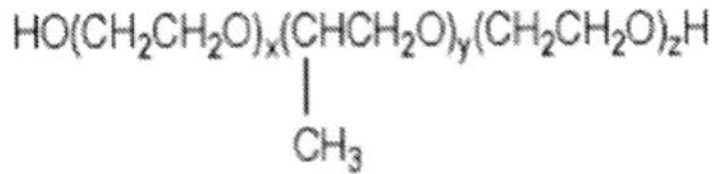
10

20

30

40

【化 2】



(III)

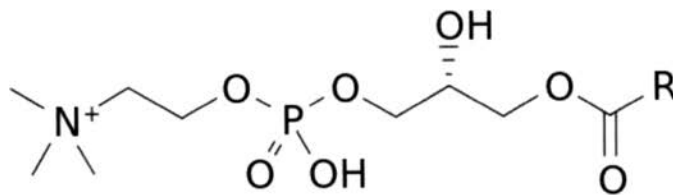
[式中、x および y は、同一でも異なってもよい、1 から 50、好ましくは、10 から 35 の整数である] を満たすことを特徴とする、請求項 1 から 8 のいずれか一項に記載の組成物。

10

【請求項 10】

前記リゾリン脂質が、次式

【化 3】



20

[式中、R は、脂肪酸鎖であり、特に、10 ~ 25 個、好ましくは、15 ~ 20 個の炭素原子を含む脂肪酸鎖である] を有する、リゾホスファチジルコリンであることを特徴とする、請求項 1 から 9 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 11】

前記油相が、鉱油、植物油および合成油の中から選ばれる少なくとも 1 種の油を含むことを特徴とする、請求項 1 から 10 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 12】

少なくとも 1 種の抗起泡剤、好ましくは、シメチコンをも含むことを特徴とする、請求項 1 から 11 のいずれか一項に記載の組成物。

30

【請求項 13】

pH が約 4.3 + / - 0.3 であることを特徴とする、請求項 1 から 12 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 14】

請求項 1 から 13 のいずれか一項に記載の組成物を調製する方法であって、

a) イヌリン誘導体、リゾリン脂質、ポロキサマー、ポリプロピレングリコールブテスおよび硬化ヒマシ油の誘導体を、水、場合によっては、保存剤と混合して、水相を得るステップと；

b) 前記油相を得るステップであって、特に、鉱油、植物油または合成油であり得る少なくとも 1 種の油を有する前記油相を得るステップと；

40

c) b) において得られた油相を、a) において得られた水相に投入して、前記エマルションを得るステップと

を含む、方法。

【請求項 15】

請求項 1 から 13 のいずれか一項に記載の化粧品組成物が、皮膚、眼および / または付属器に塗布されることを特徴とする、皮膚、眼および / または付属器のメイクアップ除去、クリーニングおよび / またはケアの美容方法。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

50

【0001】

本発明の目的は、2つの別個の相、水相および油中水型(W/O)または水中油型(O/W)相から構成される、特に局所適用のための化粧品組成物であり、本組成物は、ある特定の乳化系を含み、前記W/Oエマルションは、組成物の全重量に対して少なくとも20重量%の油相を含む。本発明の他の目的は、特に、皮膚、眼および/または付属器のメイクアップ除去、クリーニングおよび/またはケアのための化粧品または皮膚科学分野における、前記組成物の使用である。

【背景技術】

【0002】

2つの別個の相、特に、水相および油性化合物を含む相から構成される化粧品組成物は(前記相は、互いに分離しており、静止状態で互いに乳化しない)、通常、用語「2相」組成物と称される。これらは、静止状態で、片方の中にもう片方があるエマルションではなく、2相が別個であるという点で、エマルションと異なる。これらの2相組成物を使用するためには、事前に振り混ぜてエマルションを形成し、このエマルションが、十分な品質および安定性を有し、塗布される皮膚またはケラチン物質において、2相を均質に塗布することを可能にすることを要する。静止状態で、前記相は、速やかに分離し、これらの最初の状態に戻らなければならない、この現象は、「相分離」と称される。

10

【0003】

これらの使用後の2相の高速の相分離(または脱混合)は、2相組成物において必要とされる性質の1つである。様々な理由で、特に2相間の分離不良が、ユーザーにより審美的でないものと認識されるため、高速の相分離を得ることが望ましい。しかし、振り混ぜた時に、2相混合物の油相において泡を形成せずに、優れた相分離を与えることができる相分離剤を見出すことは困難である。泡のこうした形成は、ユーザーには容認できない。

20

【0004】

さらに、典型的な2相組成物の場合、組成物を振り混ぜた後、必ずしもエマルションは形成されず、これによって、メイクアップ除去が不満足なものとなり、皮膚またはケラチン物質上に油脂性の残留物を残すことになる。

【発明の概要】

【0005】

したがって、振り混ぜた後ならびにエマルションの即時かつ一時的な形成の後、泡を形成せずに速やかに2相に分離する、2つの別個の不混和性相から構成される2相組成物の必要性が依然としてある。準備のために振り混ぜた後、このような2相組成物はまた、皮膚またはケラチン物質上に油脂性の残留物を形成することなく、組成物の塗布および効率的なメイクアップ除去を可能にする一時的なエマルションを形成しなければならない。

30

【0006】

驚くべきことに、本出願人は、振り混ぜている間、油相中で泡を形成せずに、必要とされる性質を有する、すなわち、使用後に透明な2相に速やかに分離する2相配合物を開発した。この配合物によって、振り混ぜた後、一時的なエマルションを形成し、油脂性の残留物を残さずに、効率的なメイクアップ除去が可能になる。

【0007】

したがって、本発明の目的は、水相および別個の油中水型または水中油型相から構成される化粧品組成物であり、本組成物は、イヌリン誘導體、リゾリン脂質、ポロキサマー、ポリプロピレングリコールブテス(polypropylene glycol buteth)および硬化ヒマシ油の誘導體を含有する乳化系を含み、油中水型または水中油型エマルションは、組成物の全重量に対して少なくとも20重量%の油相を含む。

40

【0008】

本発明による化粧品組成物は、2つの別個の相、水相および油中水型または水中油型相から構成され、振り混ぜることにより容易に乳化し、振り混ぜるのを止めた後、相分離が容易に起こる。

【0009】

50

本発明による組成物は、局所適用を好ましくは目的とする。

【0010】

本発明による組成物は、別個の油中水型または水中油型エマルジョンおよび水相を含む。これらの2相は別個であり、すなわち、これらは、静止状態の場合、片方の上にもう片方があるように見ることができる。これらはまた、静止状態で透明である。相のそれぞれは、着色されても無色でもよい。振り混ぜた後、そのような組成物は、使用の準備ができている一時的な水中油型相を形成する。

【0011】

本発明による組成物は、油中水型または水中油型エマルジョン中に存在する油相を含む。この油相は、組成物の全重量の少なくとも20重量%に等しい量で存在する。

10

【0012】

本発明による組成物はまた、本組成物（すなわち、水相自体、および油中水型または水中油型エマルジョンの水相）中に存在する水相全体に対応する全体的な水相を含む。好ましくは、全体的な水相：油相比は、40：60から80：20である。これらの比の範囲内で、行われた試験では、特に、D+2で周囲温度で、安定した組成物を示す。

【0013】

本発明による組成物の油中水型または水中油型相エマルジョン相は、組成物の全重量に対して少なくとも20重量%の油相を含む。好ましくは、油相は、組成物の全重量の20重量%から40重量%、好ましくは、25重量%から35重量%の含有量で存在し、好ましくは、約30重量%である。

20

【0014】

本発明による組成物はまた、イヌリン誘導体、リゾリン脂質、ポロキサマー、ポリプロピレングリコールブテスおよび硬化ヒマシ油の誘導体を含む乳化系を含む。

【0015】

この特定の乳化系は、耐容性があり、効率的なメイクアップ除去を可能にし、保湿を高め、泡の形成を防ぎ、得られたエマルジョンを安定化させる。これはまた、本発明による組成物を冷却状態で調製することも可能になる。

【0016】

特に、ポロキサマーは、比較例において後で実証するとおり、他の乳化剤の場合とは異なり、泡の形成を防ぐという点で特に驚くべきことである。さらに、ポリプロピレングリコールブテスおよび硬化ヒマシ油の誘導体の存在は、油中水型エマルジョンを安定化させ、このエマルジョンおよび水相の間で優れた相分離をもたらす。

30

【0017】

好ましくは、乳化系は、組成物の全重量の2重量%から10重量%、好ましくは、3重量%から7重量%の含有量で、本発明による組成物中で存在する。

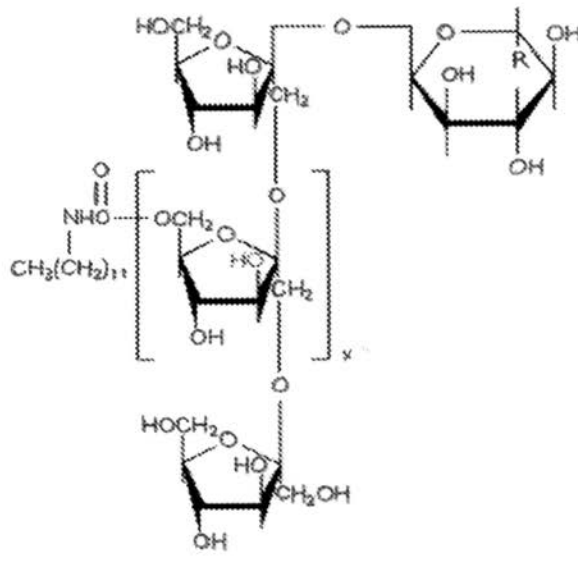
【0018】

好ましくは、イヌリンの誘導体は、アルキル（好ましくは、ラウリル）イソシアネートを有するイヌリンカルバモイルであり、好ましくは、前記誘導体は、ラウリルカルバミン酸イヌリンである。ラウリルカルバミン酸イヌリンは、次式（I）

【0019】

40

【化 1】



10

[式中、x は、2 から 65 の間、好ましくは、20 から 65 の間の整数であり、R は、ヒドロキシメチル基である] を満たす。

20

【0020】

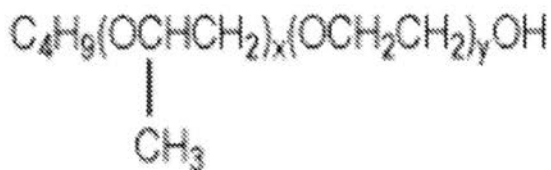
25 重量%の含有量のラウリルカルバミン酸イヌリンは、Gova Group によって Inutec SL1 (登録商標) という商品名で、特に、75 重量%のグリセリンの形態で市販されている。

【0021】

ポリプロピレングリコールブテスは、次式 (II)

【0022】

【化 2】



30

(II)

[式中、x および y は、同一でも異なってもよい、1 から 50、好ましくは、10 から 35 の整数である] を満たす、ブチルアルコールのポリオキシプロピレン、ポリオキシエチレンエーテルである。

【0023】

好ましくは、ポリプロピレングリコールブテスは、PPG-12-ブテス-16 (式 (II) 中、x = 12 であり、y = 16 である)、PPG-9-ブテス-12 (式 (II) 中、x = 9 であり、y = 12 である)、PPG-26-ブテス-26 (式 (II) 中、x = 26 であり、y = 26 である) および PPG-28-ブテス-35 (式 (II) 中、x = 28 であり、y = 35 である) の中から選ばれる。

40

【0024】

好ましくは、硬化ヒマシ油の誘導体は、好ましくは、20 モルから 50 モルのエチレンオキドを含むオキシエチレン化硬化ヒマシ油である。より好ましくは、前記誘導体は、PEG-30 硬化ヒマシ油または PEG-40 硬化ヒマシ油である。

【0025】

好ましくは、PPG-26-ブテス-26 および PEG-40 硬化ヒマシ油の混合物が

50

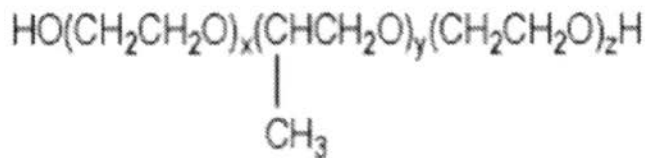
用いられる。より好ましくは、60重量%から65重量%のPPG-26-ブテス-26、ならびに35重量%から40重量%のPEG-40硬化ヒマシ油の混合物が用いられ、好ましくは、Sensient Cosmetic TechnologiesによってSolubilisant LRI（登録商標）という商品名で販売されているものが用いられる。

【0026】

ポロキサマーは、3つのブロックを有し、通常、ポリプロピレングリコールの疎水性の中心ブロック、およびポリエチレングリコールの外側の2つの親水性ブロックを有する、非イオン性コポリマーである。これらは、次式（III）

【0027】

【化3】



(III)

[式中、x、yおよびzは、同一でも異なってもよい、1から50の間、好ましくは、10から35の間の整数である]を満たす。

【0028】

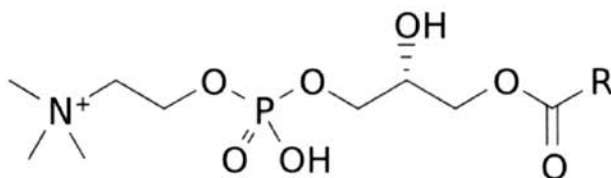
ポロキサマーは、特に、Pluronic（BASF）Kolliphor（BASF）およびSynperonic（Croda International）という名称で販売されている。ポロキサマーは、好ましくは、ポロキサマー184（式（III）中、x = z = 13であり、y = 30である）であり、BASFによってPluracare（登録商標）L64という名称で販売されているものまたはCrodaによってSynperonic PE L64という名称で販売されているものなどである。

【0029】

リゾリン脂質は、特に、加水分解により1つまたは複数のアシル基を失っているリン脂質をいう。本発明による組成物において用いられるリゾリン脂質は、次式

【0030】

【化4】



[式中、Rは、脂肪酸鎖であり、特に、10~25個、好ましくは、15~20個の炭素原子を含む、脂肪酸鎖である]を有する、リゾホスファチジルコリンである。

【0031】

本発明による組成物において用いられるリゾリン脂質は、好ましくは、ダイズ種子に由来する。好ましくは、そのINCI名は、ダイズ種子エキス（glycine soybean seed extract）である。好ましくは、KemimによってLysosfix Liquid（登録商標）という商品名で販売されている、グリセリン80重量%およびダイズ種子エキス20重量%の混合物が用いられる。

【0032】

好ましくは、ポロキサマーの量は、リゾリン脂質の量に等しい。好ましくは、乳化系のイヌリン誘導体：リゾリン脂質：ポロキサマー：ポリプロピレングリコールブテス：酸化ヒマシ油誘導体比は、約（0.30~0.40）：（0.90~1.10）：（0.90~1.10）：（0.80~0.90）：（0.50~0.65）であり、好ましくは、

10

20

30

40

50

約 0.36 : 1 : 1 : 0.86 : 0.57 である。

【0033】

好ましくは、本組成物はまた、グルコノラクトンおよび/または安息香酸ナトリウムを含む。かかる化合物は、効率的な保存剤であり、化粧品において許容される。好ましくは、本組成物は、グルコノラクトン、安息香酸ナトリウムおよびグルコン酸カルシウムの混合物を含む。このような混合物は、特に、L o n z a によって G e o g a r d U l t r a (登録商標) という名称で販売されている。好ましくは、グルコノラクトンおよび/または安息香酸ナトリウム、場合によっては、グルコン酸カルシウムは、0.5重量%から3重量%までの様々な量で存在する。

【0034】

本発明による組成物の油相は、鉱油、植物油または合成油を含めた、いくつかの油から構成することができる。

【0035】

本発明の好ましい一実施形態によれば、油相は、鉱物または合成起源の炭化水素系油およびシリコン油の中から選ばれる1種もしくは複数の油を含む。より詳細には、油相は、鉱物または合成起源の揮発性炭化水素系油および揮発性シリコン油の中から選ばれる1種もしくは複数の揮発油を有利には含有する。

【0036】

炭化水素系油は、炭素および水素原子、場合により酸素、窒素原子から本質的に形成され、または構成され、かついかなるケイ素またはフッ素原子をも含有しない油であり；これは、エステル、エーテル、アミンまたはアミド基を含有することができる。

【0037】

鉱物または合成起源の揮発性炭化水素系油の中でもとりわけ、C₈~C₁₆中のイソアルカン(イソパラフィンとも呼ばれる)、例えば、イソドデカン、イソデカン、イソヘキサデカンなど、例えば、Exxon Chemical companyによってIsoparという商品名で販売されているイソアルカンまたはPresperse companyによってPermethy1という商品名で販売されている油、およびそれらの混合物などを挙げることができる。

【0038】

鉱物または合成起源の不揮発性炭化水素系油の中でもとりわけ、ペトロラタム油、水素化ポリイソブテン、例えば、Parleam(登録商標)油など、およびそれらの混合物を挙げることができる。

【0039】

シリコン油は、少なくとも1個のケイ素原子を含有する油、特に、Si-O基を含有する油を意味する。シリコン油は、不揮発性シリコン油、揮発性シリコン油およびそれらの混合物の中から選ぶことができる。

【0040】

揮発性シリコン油の例には、特に、シクロポリジメチルシロキサン(INCI名シクロメチコン)、例えば、シクロペンタシロキサン、シクロメチルヘキサシロキサン、オクタメチルシクロテトラシロキサン、デカメチルシクロペンタシロキサン、ドデカメチルシクロヘキサシロキサンなど；直鎖シリコン、例えば、ヘプタメチルヘキシルトリシロキサン、ヘプタメチルオクチル-トリシロキサン、ヘキサメチル-ジシロキサン、オクタメチルトリシロキサン、デカメチルテトラシロキサン、ドデカメチルペンタシロキサン、およびそれらの混合物などが含まれる。

【0041】

不揮発性シリコン油の中でもとりわけ、ポリジメチルシロキサン(PDMS)、フェニル化ポリメチルシロキサン、例えば、フェニルトリメチコン、フェニルジメチコン、フェニルトリメチルシロキシジフェニルシロキサン、ジフェニル-ジメチコン、ジフェニルメチルジフェニルトリシロキサン、2-フェニルエチルトリメチル-シロキシシリケート、およびポリメチルフェニルシロキサン；脂肪酸、脂肪アルコールまたはポリオキシアル

10

20

30

40

50

キレンによって修飾されたポリシロキサン、ならびにそれらの混合物などを挙げることができる。

【0042】

本発明による組成物において用いることができる植物油または合成油の中でもとりわけ、例えば、

- ・ 植物起源の炭化水素系油、例えば、4から10個の炭素原子を含有する脂肪酸の液体トリグリセリド、例えば、ヘプタン酸またはオクタン酸のトリグリセリドなど、またはやはり、例えば、ヒマワリ油、トウモロコシ油、ダイズ油、カボチャ油、ブドウ種子油、ゴマ油、ヘーゼルナッツ油、杏仁油、マカデミア油、アララ油、コリアンダー油、ヒマシ油、アボカド油、カプリル酸/カプリン酸のトリグリセリド、Stearinerie Dubois companyによって販売されるものまたはDynamit Nobel companyによってMiglyol 810、812 Nおよび818という商品名で販売されているものなど、ホホバ油またはシア脂油；

- ・ 合成エステルおよびエーテル、特に、脂肪酸の合成エステルおよびエーテル、例えば、式 R^1COOR^2 および R^1OR^2 （式中、 R^1 は、8から29個の炭素原子を含む脂肪酸の残基を表し、 R^2 は、3から30個の炭素原子を含有する、分枝または非分枝の炭化水素鎖、例えば、ピュアセリン油、イソノナン酸イソノニル、ミリスチン酸イソプロピル、パルミチン酸イソプロピル、パルミチン酸エチル-2-ヘキシル、ステアリン酸オクチル-2-ドデシル、エルカ酸オクチル-2-ドデシル、イソステアリン酸イソステアリルなど；ヒドロキシル化エステル、例えば、乳酸イソステアリル、ヒドロキシステアリン酸オクチル、ヒドロキシステアリン酸オクチルドデシル、リンゴ酸ジイソステアリル、クエン酸トリスセチル、脂肪アルコールのヘプタノエート (heptanoate)、オクタノエート (octanoate)、デカノエート (decanoate) など；ポリオールエステル、例えば、ジオクタン酸プロピレングリコール、ジヘプタン酸ネオペンチルグリコールおよびジイソノナン酸ジエチレングリコールなど；ペンタエリスリトールエステル、例えば、テトライソステアリン酸ペンタエリスリチルなど；およびヤシアルコールエステルのカプリル酸およびカプリン酸（（カプリル酸/カプリン酸）ヤシアルキル）との混合物ならびにヤシのアルカン、例えば、Grant IndustriesによってVegetlight 1214 LC（登録商標）という名称で販売されている、INCI名ヤシアルカン（および）（カプリル酸/カプリン酸）ヤシアルキルとの混合物を挙げることができる。

【0043】

好ましくは、油相は、少なくとも1種の揮発油、好ましくは、イソヘキサデカンを含む。好ましくは、油相は、少なくともカプリル酸/カプリン酸のトリグリセリドおよび/またはヤシアルコールエステルのカプリル酸およびカプリン酸（（カプリル酸/カプリン酸）ヤシアルキル）との混合物ならびにヤシアルカンを含む。

【0044】

好ましくは、本組成物はまた、少なくとも1種の抗起泡剤、好ましくは、シメチコンを含む。このような薬剤は、特に、Xiameter ACP-1500 Antifoam Compound（登録商標）という名称で販売されている。

【0045】

本組成物の浸透圧が、涙の浸透圧と類似であるように、本組成物はまた、相分離に対して効果を及ぼさないが、アイメイクアップ除去組成物において添加物として用いられる、塩、例えば塩化ナトリウムなど、を含むこともできる。塩の量は、例えば、組成物の全重量の0.01~5重量%、好ましくは、0.01~3重量%、さらに良好には、0.05~2重量%まで変わり得る。

【0046】

本発明による組成物の水相は、水および任意の水溶性のまたは水分散性の添加物を含む。用いられる水は、無菌の脱塩水および/またはフローラルウォーター、例えば、バラ水、ブルーベリー水、カモミール水またはリンデン水など、および/または天然の熱水または鉱泉水、例えば、ヴィッテル (Vittel) 水、ヴィシベイシン (Vichy basin) 水、ユリ

10

20

30

40

50

アージュ (Uriage) 水、ロッシュボゼ (Roche Posay) 水、ブルブール (Bourboule) 水、アンギャン - レ - バン (Enghien-les-Bains) 水、サン - ジェルヴェ - レ - バン (Saint Gervais-les-Bains) 水、ネリ - レ - バン (Neris-les-Bains) 水、アルヴァール - レ - バン (Allevar-les-Bains) 水、ディニュ (Digne) 水、メジエール (Maizieres) 水、ネイラック - レ - バン (Neyrac-les-Bains) 水、ロン - ル - ソーニエ (Lons-le-Saunier) 水、オー - ボンヌ (Eaux Bonnes) 水、ロシュフォール (Rochefort) 水、サン - クリスト (Saint Christau) 水、フュマード (Fumades) およびテルシ - レ - バン (Tercis-les-bains) 水、アヴェンヌ (Avene) 水などであり得る。

【0047】

水溶性添加物の中でもとりわけ、特に、ポリオール、例えば、グリセリンなどおよびグリコール、例えば、ヘキシレングリコール、ポリエチレングリコールおよびポリプロピレングリコールなどを挙げることができる。ポリオールは、組成物の全重量に対して0.01から10重量%、好ましくは、0.05から8重量%までの様々な量で存在することができる。本発明の好ましい一実施形態によれば、本組成物は、少なくとも1種のポリオール、好ましくはグリセリンを含む。

10

【0048】

本発明による組成物はまた、2相のうちの1つに、これらの親水性のまたは親油性の性質に応じて、例えば、活性がある化粧用薬剤 (cosmetic agent)、香料、着色剤、軟化剤、緩衝液、湿潤剤、UVフィルター (または日光フィルター)、pH調整剤 (例えば、クエン酸または水酸化ナトリウムなど)、およびそれらの混合物などの従来の化粧品アジュバントまたは添加物を含有することもできる。

20

【0049】

好ましくは、本発明による組成物は、pHが約4.3 + / - 0.3である。本組成物が、グルコノラクトンおよび/または安息香酸ナトリウムを含む場合、これらの化合物は、低pHで有効である。したがって、好ましくは、pH約4.3 + / - 0.3は、皮膚の耐性を維持しながら、保存剤の効率を維持することができる。

【0050】

軟化剤の中でもとりわけ、特に、アラントイン、ピサボロール、プランクトンおよびいくつかの植物抽出物、例えば、バラ抽出物およびスイートクローバー抽出物などを挙げることができる。

30

【0051】

使用することができる有効成分は、本組成物の最終目的に依存する。本発明による組成物において用いることができる有効成分の中でも、特に、皮膚ケア用組成物の場合においては、例えば、酵素 (例えば、ラクトペルオキシダーゼ (lactoperoxydase)、リパーゼ、プロテアーゼ、ホスホリパーゼ、セルラーゼ); フラボノイド、例えば、イソフラボン; 保湿剤、例えば、タンパク質加水分解物など; ヒアルロン酸ナトリウム; プロシアニドールオリゴマー (procyanidolic oligomer); ビタミン、例えば、ビタミンA (レチノール)、ビタミンE (トコフェロール)、ビタミンC (アスコルビン酸)、ビタミンB5 (パンテノール)、ビタミンB3 (ナイアシンアミド)、これらのビタミンの誘導体 (特に、エステル) などおよびそれらの混合物; 尿素; カフェイン; 色素脱失剤、例えば、コウジ酸、ヒドロキノンおよびコヒー酸; サリチル酸およびそれらの誘導体; α -ヒドロキシ酸、例えば、乳酸およびグリコール酸ならびにそれらの誘導体など; レチノイド、例えば、カロテノイドおよびビタミンAの誘導体など; ヒドロコルチゾン; メラトニン; 藻類抽出物 (例えば、微細藍藻類 (blue micro-algae) の抽出物またはサリコニア抽出物)、キノコ、植物、酵母、細菌の抽出物; ステロイド; 活性がある抗菌剤、例えば、2, 4, 4'-トリクロロ-2'-ヒドロキシジフェニルエーテル (またはトリクロサン)、3, 4, 4'-トリクロロカルバニリド (またはトリクロカルバン); テンソル剤; セラミド; および精油を挙げることができる。

40

【0052】

特に、日光からの保護として意図される場合、本発明による組成物中にUVフィルター

50

を含有してもよい。特に、これらのフィルターは、有機フィルターであり得、活物質の量は、組成物の全重量に対して、活物質 0.01 から 20 重量%まで、好ましくは、0.1 から 15 重量%まで、さらに良好には、0.2 から 10 重量%まで変わり得る。

【0053】

本発明による組成物に添加することができる UV - A および / または UV - B において活性がある有機フィルターの例の中でも、例えば、スルホン官能基誘導体、例えば、ベンジリデンカンファー、ベンゾフェノンまたはフェニルベンゾイミダゾールのスルホン化誘導体など、より具体的には、ベンジリデンカンファーの誘導体、例えば、CHIMEX company により「MEXORYL SX」という名称で作られたベンゼン 1, 4 [ジ(3 - メチリデン - カンファー 10 - スルホン)] 酸 (INCI 名テレフタリリデンジカンフルスルホン酸)、CHIMEX company により「MEXORYL SL」という名称で作られた 4' - スルホ 3 - ベンジリデンカンファー (INCI 名ベンジリデンカンフルスルホン酸)、2 - [4 - (カンホメチリデン) フェニル]、ベンゾイミダゾール - 5 - スルホン酸、MERCCK company によって EUSOLEX 232 という名称で市販されているフェニルベンゾイミダゾールスルホン酸 (INCI 名フェニルベンゾイミダゾールスルホン酸) ; パラアミノ安息香酸の誘導体 ; サリチル酸誘導体、例えば、Haarmann and Reimer によって NEO HELIOPAN OS という商品名で販売されているサリチル酸エチルヘキシル ; ジベンゾイルメタンの誘導体、例えば、特に、Hoffmann La Roche によって PARSOL 1789 という商品名で市販されているブチルメトキシジベンゾイルメタン ; ケイ皮酸誘導体、特に、Hoffmann La Roche によって PARSOL MCX という商品名で販売されている、例えば、メトキシケイヒ酸エチルヘキシルなど ; , ' - ジフェニルアクリル酸の誘導体、例えば、BASF company によって UVINUL N539 という商品名で販売されているオクトクリレン (2 - エチルヘキシル - シアノ - , ' - ジフェニルアクリル酸) など ; ベンゾフェノンの誘導体、例えば、BASF によって UVINUL 400 という商品名で販売されているベンゾフェノン - 1、BASF によって UVINUL D50 という商品名で販売されているベンゾフェノン - 2、BASF によって UVINUL M40 という商品名で販売されているベンゾフェノン - 3 またはオキシベンゾン、BASF によって UVINUL MS40 という商品名で販売されているベンゾフェノン - 4 ; ベンジリデンカンファーの誘導体、例えば、MERCCK によって EUSOLEX 6300 という商品名で販売されている 4 - メチルベンジリデンカンファーなど ; フェニルベンゾイミダゾールの誘導体、例えば、Haarmann and Reimer によって NEO HELIOPAN AP という商品名で販売されているベンゾイミダジレート (Benzimidazilate) ; トリアジンの誘導体、例えば、CIBA GEIGY によって TINOSORB S という商品名で販売されているアニソトリアジン (Anisotriazine) および特に、BASF によって UVINUL T150 という商品名で販売されているエチルヘキシルトリアゾン ; フェニルベンゾトリアゾールの誘導体、例えば、Rhodia Chimie によって SILATRIZOLE という商品名で販売されているドロメトリゾールトリシロキサンなど ; アントラニル誘導体、例えば、Haarmann and Reimer によって NEO HELIOPAN MA という商品名で販売されているアントラニル酸メンチルなど ; イミダゾリンの誘導体 ; ベンザルマロネートの誘導体 ; およびそれらの混合物を挙げることができる。

【0054】

前述の組成物は、単一のコンパートメントを有するフラスコ中で、公知の方式で適切な状態にすることができる。次いで、ユーザーは、綿パッド上で内容物を注ぐ前にフラスコを振り混ぜる必要がある。また、組成物の 2 相を、分布の時間でこれらを混合するよう設計されている系によって、同じフラスコ内で 2 つの独立したコンパートメントに添加するという事も可能であろう。

【0055】

本発明による組成物は、任意の局所適用のために用いることができ ; 特に、化粧品また

は皮膚科学的組成物を形成することができる。特に、これは、皮膚、眼および/または付属器のケア、クリーニングおよび/またはそれらからのメイクアップ除去のために用いることができる。

【0056】

本発明の他の目的は、上記で定義した化粧品組成物の皮膚、眼および/または付属器への塗布を含む、皮膚、眼および/または付属器をクリーニングするおよびケアするための化粧メイクアップの除去のための方法である。

【0057】

本発明の好ましい一実施形態によれば、本組成物は、アイメイクアップ除去組成物を構成する。

【0058】

本発明の他の目的は、

a) イヌリン誘導体、リゾリン脂質、ポロキサマー、ポリプロピレングリコールブテスおよび硬化ヒマシ油の誘導体を水、場合によっては保存剤と混合して、水相を得るステップと;

b) 特に、鉱油、植物油または合成油であり得る少なくとも1種の油を有する油相を得るステップと;

c) b)において得られた油相を、a)において得られた水相に投入して、エマルションを得るステップと

を含む、上記で定義したような組成物を調製する方法である。

【0059】

本発明による方法の別の例には、直接2つのステップが含まれ得る。

【0060】

本発明による組成物の以下の例は、例示的な手段を示しており、決して限定的なものではない。例中の量は、別段言及されない限り、重量%として示される。

【実施例】

【0061】

[実施例1]

乳化系の選択

a) 次の原材料を、次の例において用いる。

- ラウリルカルバミン酸イヌリン(グリセリンと混合した): Inutec SL1 (登録商標);

- PPG-26-ブテス-26およびPEG-40硬化ヒマシ油の混合物: Solubilisant LRI (登録商標);

- ポロキサマー184: Synperonic (登録商標) PE L64;

- グリセリン(および)ダイズ種子エキス: Lysofix Liquid (登録商標);

- ヤシアルカン(および)(カプリル酸/カプリン酸)ヤシアルキル: Vegelight 1214 LC (登録商標);

- カプリル酸/カプリン酸のトリグリセリド: Mygliol 812 N。

【0062】

次の配合物1~7を調製し、振り混ぜた後得られた起泡を評価する。配合物5および6は、本発明による乳化剤のうちの3つを含み、配合物1~4および7は比較例である。

【0063】

10

20

30

40

【表 1】

試験番号	油相	水相	コメント
1	トリ(カプリル酸/カプリン酸)グリセリル:10% VegeLight 1214LC: 20%	Lysofix: 3.5% Inutec SL1: 3% Tegobetaine: 0%	より速やかに崩壊する 通気された泡 2 カ月で不安定
2		Lysofix: 3.5% Inutec SL1: 0% Tegobetaine: 3%	ほんのわずかに起泡し 大きな泡を形成する 15 日で不安定
3		Lysofix: 3.5% Inutec SL1: 1% Aminol LS 30 (ラウロイルサルコシン ナトリウム): 2%	より速やかに崩壊する 通気された泡 3 週間で不安定
4		Lysofix: 3.5% Inutec SL1: 1% Appygreen 812 (デシルグルコシド(お よび)キシロース(およ び)デシルアルコール (および)水): 1%	わずかに起泡し 中位の泡を形成する 3 カ月で不安定
5		Lysofix: 3.5% Inutec SL1: 1% Synperonic PE L64: 0.7%	非常にわずかに起泡
6		Lysofix: 3.5% Inutec SL1: 1% Synperonic PE L64: 0.5%	非常にわずかに起泡
7		Lysofix: 3.5% Inutec SL1: 1% Plantacare 200UP (デシルグルコシド): 1.5%	より速やかに崩壊する 通気された泡 2 カ月で不安定

10

20

30

【0064】

これらの結果により、イヌリンの誘導体 (Inutec SL1 (登録商標))、リゾリン脂質 (Lysofix Liquid (登録商標)) およびポロキサマー (Synperonic) の組み合わせは、他の組み合わせと異なり、非常にわずかに起泡する。

40

【0065】

b) 配合物の安定性:

次の表中の配合物 8 ~ 17 を調製した。初期の配合物は、上記の表中の配合物 5 である。配合物 13 のみが、本発明に適合する。

【0066】

【表 2】

成分	初期配合物 (「fle」という)	8	9	10	11	12	13*	14	15	16	17
水	0s										
ナトリウム Rectapure	0.7										
ソルビン酸カリウム	0.5										
トリ(カプリル酸/カプリン酸)グリセリル (Mvgliol 812N)	10										
水添ヤシ脂脂肪酸および(カプリル酸/カプリン酸)ヤシアルキル (Vegelight 1214LC(登録商標))	20										
グリセリンおよびラウリルカルバミン酸イヌリン (Inutech SL1)	1										
グリセリンおよびダイズ種子エキス (Lysofix Liquid)	3.5										
ポロキサマー184 (Synperonic PE L64)	0.7										
セスキオレイン酸ソルビタン (SPAN 83)	0.15										
イソステアリン酸ソルビタンおよびポリグリセリル-3 ポリキヤスターオ レエート (ARLACEL 1690)	0.15										
PEG-10 ジメチコン (DC ES 5612)	0.15										
ポリソルベート81 (TWEEN 81)	0.15										
ラウリン酸ポリグリセリル-10 (DERMOFEEL G10L)	0.15										
PPG-26-ブテス-26 および40%PEG40 硬化ヒマシ油 (Solubilisant LRI)	0.15										
ジメチコン(および)PEG/PPG-18/18 ジメチコン (DC ES-5226)	0.15							0.15			
セチルPEG/PPG-10/1 ジメチコンおよびテトラ(ジ- <i>n</i> -ブチルヒドロキシヒ ドロケイヒ酸)ペンタエリスリチル (ABIL EM 180)	0.15								0.15		
PEG-8(カプリル酸/カプリン酸)グリセリズ (L. A. S)	0.15									0.15	0.35

次のとおりコメントした。

初期の配合物では、振り混ぜた直後、透明な底および表面のエマルションは、わずかな起泡とともに観察される。D + 1では、水相は、透明であるが、表面は、油性の浸出物の外観を有する。

【 0 0 6 8 】

他の配合物に関するコメントを次表に示す。

【 0 0 6 9 】

【表 3】

配合物	8	9	10	11	12	13*	14	15	16	17
振り混ぜた後直ちに観察	わずかな起泡 fleより少ない	わずかな起泡 fleより少ない	かなりの起泡	非常にわずかな起泡 底では水相であるが、表面はエマルションにより白色	極めて多くの起泡 fleより多い	わずかな起泡 fleに等しい	fleに等しい起泡	fleより起泡が多い	わずかな起泡 fleより少ない	わずかな起泡があるが、限られた領域
泡の分類	2	4	10	1	9	7	8	6	3	
観察 d+1	底での混濁した水相 限られた浸出領域	底での混濁した水相 限られた浸出領域	均質でない界面 わずかに混濁した水相および上部の界面の油性の浸出限界	分離したエマルション 油相分離	わずかなが泡が常に存在する ため、油相分離を観察することが視覚的に不可能 わずかに混濁した水相	数個の泡が存在する わずかに混濁した水相表面	透明な水相であるが、均質でない水-エマルション界面 泡が存在	底での透明な水相 表面に数個の泡があるが、相分離はない	透明な水相 表面にわずかな浸出	
D+1における品質分類	2	5	8	9	4	1	7	6	3	

配合物 13 (13*) は、本発明による唯一の配合物であり、その他は比較例である。

これらの結果によって、ポリプロピレングリコールブテスおよび硬化ヒマシ油の誘導体を含み、本発明による配合物である、配合物 13 が、泡がほとんどなく、水相が魅力的な外観を有することを示す。これは、あまり泡がなく、安定している唯一の被験配合物である。

【 0 0 7 1 】

[実施例 2]

得られた組成物の安定性

次の組成物 18 ~ 28 の安定性を評価する。

【 0 0 7 2 】

【表 4 - 1】

K0 = 安定しない

試験番号	油相	水相		安定性	コメント
		TA系	保存剤		
18	トリ(カプリル酸/カプリン酸)グリセリル: 10% VegeLight 1214 LC 20: % KM-72S 1%	Lysofix 3.5% Synperonic PE L64 0.7% Solubilisant LRI 1%	ソルビン酸カリウム 0.5%	3 カ月: K0	安定性は適合せず
19	トリ(カプリル酸/カプリン酸)グリセリル 10% インヘキサデカン 20% KM-72S 1%	Lysofix 3.5% Synperonic PE L64 0.7% Solubilisant LRI 1%	ソルビン酸カリウム 0.5%	2 カ月: 40°Cおよび 45°Cで K0	安定性は適合せず
20	トリ(カプリル酸/カプリン酸)グリセリル 10% VegeLight 1214 LC 20% KM-72S 1%	Lysofix 3.5% Synperonic PE L64 0.7% Solubilisant LRI 1%	ペンチレングリコール 2.25% カプリリルグリコール 0.5% 相 K0	1 カ月: 40°Cおよび 45°C でエマルション 相 K0	K0
21	トリ(カプリル酸/カプリン酸)グリセリル 10% VegeLight 1214 LC 20% KM-72S 1%	Lysofix 3.5% Synperonic PE L64 0.7% Solubilisant LRI 1%	メチルパラベン 0.2% フェノキシエタノール 0.5%	1 カ月: 安定限界 エマルション 全温度で浮遊	限界

10

20

30

40

【表 4 - 2】

22	トリ(カプリル酸/カプリン酸)グリセリル 10% Veilight 1214 LC 20% KM-72S 1%	Lysofix 3.5% Synperonic PE L64 0.7% Solubilisant LRI 1%	プロパンジオールおよびフェネチルアルコールおよびウンデシルアルコールおよびトコフェロール (Sensiva PA-30) 2%	1 カ月: 安定限界エマルション 全温度で浮遊	限界
23	トリ(カプリル酸/カプリン酸)グリセリル 10% Veilight 1214 LC 20% KM-72S 1%	Lysofix 3.5% Synperonic PE L64 0.7% Solubilisant LRI 1%	プロパンジオールおよびフェネチルアルコールおよびウンデシルアルコールおよびトコフェロール (Sensiva PA-40) 2%	エマルション相 D+15 で K0	K0
24	トリ(カプリル酸/カプリン酸)グリセリル 10% Veilight 1214 LC 20% KM-72S 1%	Lysofix 3.5% Synperonic PE L64 0.7% Solubilisant LRI 1%	カプリリルグリコール(および)カプリル酸グリセリル(および)グリセリン(および)フェニルプロパノール (Dermosoft LP) 4%	D+1 で 4 相	K0
25	トリ(カプリル酸/カプリン酸)グリセリル 10% Veilight 1214 LC 20% KM-72S 1%	Lysofix 3.5% Synperonic PE L64 0.7% Solubilisant LRI 1%	メチルパラベン 0.25% プロピルパラベン 0.1%	1 カ月: OK 3 カ月: K0	安定性は適合せず パラベンの再結晶

10

20

30

40

【表 4 - 3】

26	トリ(カプリル酸/カプリン酸)グリセリル 10% Vegetlight 1214 LC 20% KM-72S 1%	Lysofix 3.5% Synperonic PE L64 0.7% Solubilisant LRI 1%	メチルパラベン0.25% +1%グリセリン プロピルパラベン0.1%	3 カ月: K0	安定性は適合せず パラベンの再結晶
27	トリ(カプリル酸/カプリン酸)グリセリル 10% Vegetlight 1214 LC 10% インヘキサデカン 10% KM-72S 1%	Lysofix 3.5% Synperonic PE L64 0.7% Solubilisant LRI 1%	メチルパラベン0.25% +1%グリセリン プロピルパラベン0.1%	3 カ月: 45°Cで K0	安定性は適合せず
28	トリ(カプリル酸/カプリン酸)グリセリル 10% Vegetlight 1214 LC 10% インヘキサデカン 10% KM-72S 1%	Lysofix 3.5% Synperonic PE L64 0.7% Solubilisant LRI 1% (Inutec SL1 1%を含む または含まない)	グルコノラクトンおよび安息香酸ナトリウムおよびグルコン酸カルシウム (Geogard Ultra) 2%	3 カ月 OK	安定性が適合する

10

20

30

40

これらの結果によって、本発明による界面活性剤系および保存剤を含む組成物が、安定であることが示される。

【0076】

[実施例3]

組成物

本発明による組成物を、次の成分で調製する（百分率は、全組成物の重量による）。

【0077】

水 q s p

0.7% NaCl

7.2% グリセリン

2% グルコノラクトンおよび安息香酸ナトリウムおよびグルコン酸カルシウム (GEOGARD ULTRA)

9.8% トリ(カプリル酸/カプリン酸)グリセリル (Mygliol 812N)

10% 水添ヤシ脂肪酸および(カプリル酸/カプリン酸)ヤシアルキル (VEGELIGHT 1214 LC)

9.98% イソヘキサデカン (Creasil IHGC)

0.1% シメチコン (XIAMETER ACP-1500)

1% ラウリルカルバミン酸イヌリンおよびグリセリン (INUTEC SL1)

3.5% グリセリンおよびダイズ種子エキス (LYSOFIX LIQUID)

0.7% ポロキサマー184 (SYNPERONIC PE L64)

1% PPG-26-ブレス-26 およびPEG40硬化ヒマシ油 (SOLUBILISANT LRI)

10

20

【 国際調査報告 】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No PCT/FR2017/050741

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER		
INV. A61Q1/14	A61K8/55	A61K8/73
A61K8/90	A61K8/92	A61K8/03
ADD.		
According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC		
B. FIELDS SEARCHED		
Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols) A61K A61Q		
Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched		
Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used) EPO-Internal, WPI Data		
C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	EP 1 514 534 A1 (OREAL [FR]) 16 March 2005 (2005-03-16) paragraph [0004] - paragraph [0009] paragraph [0034]	1-15
A	----- W0 2015/091380 A1 (OREAL [FR]) 25 June 2015 (2015-06-25) page 1, line 3 - page 2, line 24 page 8, line 12 - page 8, line 14 examples 1-3 ----- -/--	1-15
<input checked="" type="checkbox"/> Further documents are listed in the continuation of Box C. <input checked="" type="checkbox"/> See patent family annex.		
* Special categories of cited documents :		
A document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance *E* earlier application or patent but published on or after the international filing date *L* document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) *O* document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means *P* document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed		*T* later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention *X* document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone *Y* document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art *&* document member of the same patent family
Date of the actual completion of the international search 30 May 2017		Date of mailing of the international search report 12/06/2017
Name and mailing address of the ISA/ European Patent Office, P.B. 5818 Patentlaan 2 NL - 2280 HV Rijswijk Tel. (+31-70) 340-2040, Fax: (+31-70) 340-3016		Authorized officer Ovens, Annabel

1

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No PCT/FR2017/050741

C(Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	<p>DATABASE WPI Week 201420 Thomson Scientific, London, GB; AN 2014-E84186 XP002759283, -& CN 103 505 381 A (GUANGZHOU HUANYA COSMETICS SCI & TECHNOL) 15 January 2014 (2014-01-15) abstract</p> <p style="text-align: center;">-----</p>	1-15
A	<p>DATABASE WPI Week 201330 Thomson Scientific, London, GB; AN 2013-G14012 XP002759284, -& JP 2013 075867 A (KAO CORP) 25 April 2013 (2013-04-25) abstract</p> <p style="text-align: center;">-----</p>	1-15
A	<p>DATABASE WPI Week 201173 Thomson Scientific, London, GB; AN 2011-N36238 XP002759285, -& JP 2011 213682 A (NARISU KESHOHIN KK) 27 October 2011 (2011-10-27) abstract</p> <p style="text-align: center;">-----</p>	1-15
A	<p>EP 1 894 994 A1 (HENKEL KGAA [DE]) 5 March 2008 (2008-03-05) paragraph [0001] - paragraph [0003] paragraph [0011] - paragraph [0013]</p> <p style="text-align: center;">-----</p>	1-15
A	<p>DATABASE WPI Week 200702 Thomson Scientific, London, GB; AN 2007-012383 XP002759286, -& JP 2006 306842 A (KOSE KK) 9 November 2006 (2006-11-09) abstract</p> <p style="text-align: center;">-----</p>	1-15

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

Information on patent family members

International application No

PCT/FR2017/050741

Patent document cited in search report	Publication date	Patent family member(s)	Publication date
EP 1514534	A1	16-03-2005	AT 355045 T 15-03-2006 DE 602004004958 T2 08-11-2007 EP 1514534 A1 16-03-2005 ES 2282824 T3 16-10-2007 FR 2859626 A1 18-03-2005 JP 4031473 B2 09-01-2008 JP 2005089459 A 07-04-2005
WO 2015091380	A1	25-06-2015	FR 3015235 A1 26-06-2015 WO 2015091380 A1 25-06-2015
CN 103505381	A	15-01-2014	NONE
JP 2013075867	A	25-04-2013	JP 5802509 B2 28-10-2015 JP 2013075867 A 25-04-2013
JP 2011213682	A	27-10-2011	NONE
EP 1894994	A1	05-03-2008	NONE
JP 2006306842	A	09-11-2006	NONE

RAPPORT DE RECHERCHE INTERNATIONALE

Demande internationale n°

PCT/FR2017/050741

A. CLASSEMENT DE L'OBJET DE LA DEMANDE		
INV.	A61Q1/14 A61K8/90	A61K8/55 A61K8/92
		A61K8/73 A61K8/03
		A61K8/86
		A61Q19/10
ADD.		
Selon la classification internationale des brevets (CIB) ou à la fois selon la classification nationale et la CIB		
B. DOMAINES SUR LESQUELS LA RECHERCHE A PORTE		
Documentation minimale consultée (système de classification suivi des symboles de classement)		
A61K A61Q		
Documentation consultée autre que la documentation minimale dans la mesure où ces documents relèvent des domaines sur lesquels a porté la recherche		
Base de données électronique consultée au cours de la recherche internationale (nom de la base de données, et si cela est réalisable, termes de recherche utilisés)		
EPO-Internal, WPI Data		
C. DOCUMENTS CONSIDERES COMME PERTINENTS		
Catégorie*	Identification des documents cités, avec, le cas échéant, l'indication des passages pertinents	no. des revendications visées
A	EP 1 514 534 A1 (OREAL [FR]) 16 mars 2005 (2005-03-16) alinéa [0004] - alinéa [0009] alinéa [0034]	1-15
A	W0 2015/091380 A1 (OREAL [FR]) 25 juin 2015 (2015-06-25) page 1, ligne 3 - page 2, ligne 24 page 8, ligne 12 - page 8, ligne 14 exemples 1-3	1-15
<input checked="" type="checkbox"/> Voir la suite du cadre C pour la fin de la liste des documents <input checked="" type="checkbox"/> Les documents de familles de brevets sont indiqués en annexe		
* Catégories spéciales de documents cités:		
A document définissant l'état général de la technique, non considéré comme particulièrement pertinent *E* document antérieur, mais publié à la date de dépôt international ou après cette date *L* document pouvant jeter un doute sur une revendication de priorité ou cité pour déterminer la date de publication d'une autre citation ou pour une raison spéciale (telle qu'indiquée) *O* document se référant à une divulgation orale, à un usage, à une exposition ou tous autres moyens *P* document publié avant la date de dépôt international, mais postérieurement à la date de priorité revendiquée		*T* document ultérieur publié après la date de dépôt international ou la date de priorité et n'appartenant pas à l'état de la technique pertinent, mais cité pour comprendre le principe ou la théorie constituant la base de l'invention *X* document particulièrement pertinent; l'invention revendiquée ne peut être considérée comme nouvelle ou comme impliquant une activité inventive par rapport au document considéré isolément *Y* document particulièrement pertinent; l'invention revendiquée ne peut être considérée comme impliquant une activité inventive lorsque le document est associé à un ou plusieurs autres documents de même nature, cette combinaison étant évidente pour une personne du métier *Z* document qui fait partie de la même famille de brevets
Date à laquelle la recherche internationale a été effectivement achevée		Date d'expédition du présent rapport de recherche internationale
30 mai 2017		12/06/2017
Nom et adresse postale de l'administration chargée de la recherche internationale		Fonctionnaire autorisé
Office Européen des Brevets, P.B. 5818 Patentlaan 2 NL - 2280 HV Rijswijk Tel. (+31-70) 340-2040, Fax: (+31-70) 340-3016		Ovens, Annabel

1

RAPPORT DE RECHERCHE INTERNATIONALE

Demande internationale n°

PCT/FR2017/050741

C(suite). DOCUMENTS CONSIDERES COMME PERTINENTS		
Catégorie*	Identification des documents cités, avec, le cas échéant, l'indication des passages pertinents	no. des revendications visées
A	DATABASE WPI Week 201420 Thomson Scientific, London, GB; AN 2014-E84186 XP002759283, -& CN 103 505 381 A (GUANGZHOU HUANYA COSMETICS SCI & TECHNOL) 15 janvier 2014 (2014-01-15) abrégé -----	1-15
A	DATABASE WPI Week 201330 Thomson Scientific, London, GB; AN 2013-G14012 XP002759284, -& JP 2013 075867 A (KAO CORP) 25 avril 2013 (2013-04-25) abrégé -----	1-15
A	DATABASE WPI Week 201173 Thomson Scientific, London, GB; AN 2011-N36238 XP002759285, -& JP 2011 213682 A (NARISU KESHOHIN KK) 27 octobre 2011 (2011-10-27) abrégé -----	1-15
A	EP 1 894 994 A1 (HENKEL KGAA [DE]) 5 mars 2008 (2008-03-05) alinéa [0001] - alinéa [0003] alinéa [0011] - alinéa [0013] -----	1-15
A	DATABASE WPI Week 200702 Thomson Scientific, London, GB; AN 2007-012383 XP002759286, -& JP 2006 306842 A (KOSE KK) 9 novembre 2006 (2006-11-09) abrégé -----	1-15

1

RAPPORT DE RECHERCHE INTERNATIONALE

Renseignements relatifs aux membres de familles de brevets

Demande internationale n°

PCT/FR2017/050741

Document brevet cité au rapport de recherche		Date de publication	Membre(s) de la famille de brevet(s)	Date de publication
EP 1514534	A1	16-03-2005	AT 355045 T DE 602004004958 T2 EP 1514534 A1 ES 2282824 T3 FR 2859626 A1 JP 4031473 B2 JP 2005089459 A	15-03-2006 08-11-2007 16-03-2005 16-10-2007 18-03-2005 09-01-2008 07-04-2005
WO 2015091380	A1	25-06-2015	FR 3015235 A1 WO 2015091380 A1	26-06-2015 25-06-2015
CN 103505381	A	15-01-2014	AUCUN	
JP 2013075867	A	25-04-2013	JP 5802509 B2 JP 2013075867 A	28-10-2015 25-04-2013
JP 2011213682	A	27-10-2011	AUCUN	
EP 1894994	A1	05-03-2008	AUCUN	
JP 2006306842	A	09-11-2006	AUCUN	

フロントページの続き

(51) Int.Cl.	F I	テーマコード (参考)
A 6 1 K 8/86 (2006.01)	A 6 1 K 8/86	
A 6 1 K 8/92 (2006.01)	A 6 1 K 8/92	
A 6 1 K 8/03 (2006.01)	A 6 1 K 8/03	

(81) 指定国 AP(BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), EA(AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), EP(AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OA(BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG), AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DJ, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IR, IS, JP, KE, KG, KH, KN, KP, KR, KW, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ

(72) 発明者 ドンデイヌ, コリーヌ
フランス国 9 2 5 0 0 リュエイユ マルメゾン, ビス リュ ギ ド モーパッサン 5

(72) 発明者 シュールマン, ティボー
フランス国 9 4 2 7 0 クレムラン ビセートル, ビス リュ ナートル フランス 4 1

(72) 発明者 トルイエ, ベロニク
フランス国 7 7 1 4 0 サン ピエール レ ヌムール, インパス ドウ グランド パルク
1

F ターム(参考) 4C083 AA121 AA122 AA161 AB332 AC012 AC072 AC122 AC181 AC182 AC302
AC311 AC312 AC352 AC422 AC841 AC842 AD051 AD052 AD151 AD152
AD211 AD212 AD571 AD572 BB11 CC02 CC23 DD05 DD31 EE01
EE03 FF05